

1. 本県周辺海域の概況(図1, 5/9現在)

- ・黒潮の流型は、N型で推移しています。黒潮本流は犬吠埼を離岸した状態で、本県沖合を北東に流去しています。
- ・親潮第一分枝の先端位置は、北緯38° 00' 東経142° 30' 付近(宮城県沖)にあります。親潮の面積は平年よりかなり大きくなっています。また、東北海域の海面水温は、三陸沖で低め、金華山沖でかなり低めで推移しており、常磐南部～犬吠埼では高めで推移しています(気象庁5/9発表)。

2. 海洋観測結果(5/7～8:調査船「いばらき丸」)

- ・時化の影響により、大洗沖の140° 53' 及び140° 59' の2点が欠測となりました。
- ・水平水温図(水温, 前月差, 平年偏差)を図2～9に示しました。また、各定線の鉛直水温図を図10～13に、会瀬・鹿島定線の鉛直水温図(前月差, 平年偏差)を図14～17に示しました。海面水温は、会瀬沖で15.5～18.5℃, 大洗沖で15.5～18.9℃, 鹿島沖で14.6～20.9℃, 犬吠埼沖で16.4℃～21.0でした(①, 図2)。
- ・前月と比べると、広い海域の表層～100m深で昇温(+1～+3℃)しました。また、200m深では大洗沖及び鹿島沖の一部で降温(-1℃)しました(②)。
- ・平年と比べると、犬吠埼沖の一部を除き、広い範囲で暖水波及の影響により「やや高め～高め」となりました。特に、会瀬・大洗沖の50m～100m深では、「極めて高め」(+4～6℃)となりました。(③)。
- ・潮流の特徴として、大洗・鹿島・犬吠埼沖で、黒潮本流の北東への強い潮流(2.0～3.3ノット)が観測されました。会瀬及び大洗の沿岸域では、やや強い真潮(0.7～1.3ノット)が観測されました。また、会瀬沖141° 30' 付近ではやや強い逆潮(0.5～0.8ノット)が観測されています。

3. 今後1か月の見通し

- ・黒潮流型はN型で推移するでしょう。黒潮流路は、犬吠埼沖に接岸しながら北東に流去するでしょう。
- ・親潮の面積は平年より大きめで推移する見通しですが、親潮第一分枝の先端は北緯38° 00' 東経142° 30' (金華山沖付近)で停滞するとみられます。
- ・水温を平年と比べると、暖水波及の影響により、茨城県の沿岸～沖合の広い範囲で「やや高め～高め」で推移するでしょう。

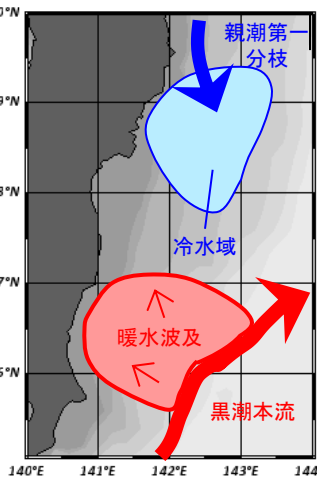


図1 海況の概要 (5月9日現在)

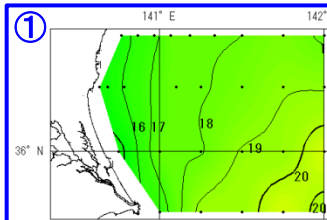


図2 海面水温(°C)

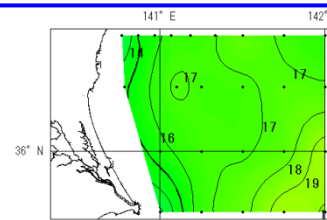


図3 50m深水温(°C)

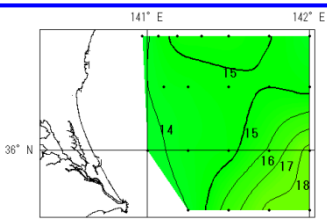


図4 100m深水温(°C)

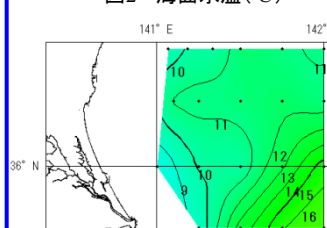


図5 200m深水温(°C)

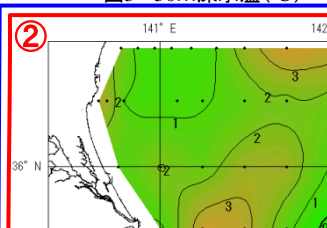


図6 海面水温前月差(°C)

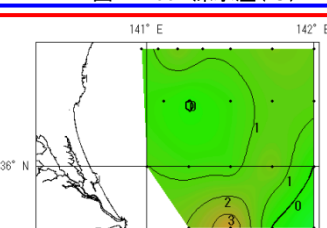


図7 100m深水温前月差(°C)

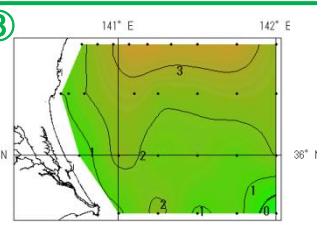


図8 海面水温偏差(°C)

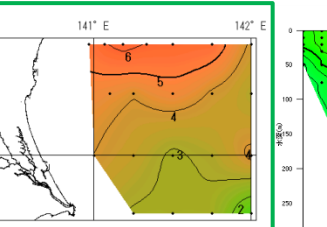


図9 100m深水温偏差(°C)

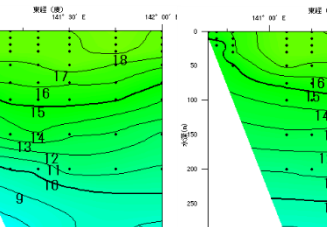


図10 会瀬沖鉛直水温(°C)

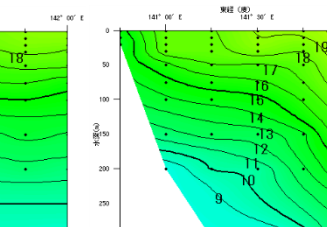


図11 大洗沖鉛直水温(°C)

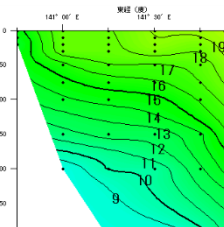


図12 鹿島沖鉛直水温(°C)

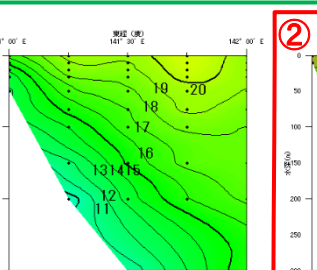


図13 犬吠埼沖鉛直水温(°C)

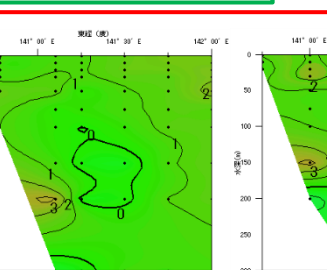


図14 大洗沖鉛直水温前月差(°C)

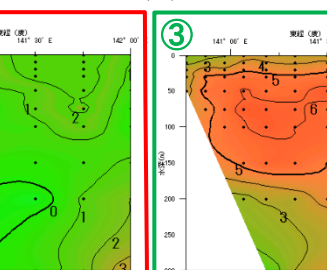


図15 鹿島沖鉛直水温前月差(°C)

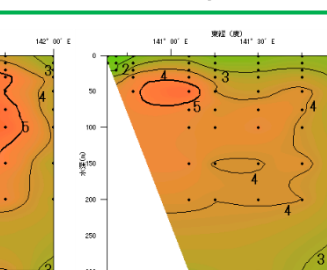


図16 会瀬沖鉛直水温偏差(°C)

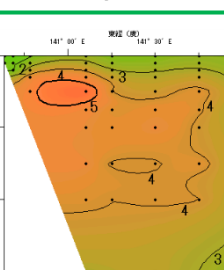


図17 大洗沖鉛直水温偏差(°C)